

遠野

議会だより

発行：遠野市議会

平成21(2009)年10月

No.17



すこやか・さんぽ

神明保育園

神明保育園では、畑に23種類の野菜を植えて、園舎前のたんぼには「あきたこまち」を植え、食育を通し、「元気な子どもを育てよう!!」をモットーに保育をしています。

「実るほど 頭を垂れる 稲穂かな」という句があります。

食べて、遊んで… Jリーガーめざしてキック・オフ!!

(村上 美喜子 園長)

主な内容 7・8月臨時会・9月定例会

- ◆定例会の概要など …… 2P
- ◆一般質問 ～6人が登壇～ …… 3P～5P
- ◆9月定例会議案審議結果 …… 6P
- ◆7・8月臨時会議案審議結果 …… 7P
- ◆決算特別委員会質疑 …… 8P～9P
- ◆予算等審査特別委員会質疑 …… 10P～11P
- ◆私のひとこと・編集後記など …… 12P

9月定例会

平

成21年9月定例会
が9月4日に招集さ
れ、16日までの13日間の会
期で開かれました。

この定例会では、提案
された平成20年度決算関係
9件、平成21年度補正予算
関係9件、条例の制定等
7件の全議案25件を審議
した結果、本会議において、
全会一致で原案のとおり可
決しました。

また、一般質問には6人
の議員が登壇し、市政を
ただしました。
また、最終日には請願
3件を採択、意見書4件を
可決しました。

〔請願〕

◆請願第3号

政府が自ら決めた備蓄
ルールに基づいて政府米
買い入れを求める請願書
(採択)

◎請願者 阿部喜一

◆請願第4号

「保険で良い歯科医療」
実現のための請願書
(採択)

◎請願者 箱石勝見

◆請願第5号

地域公共交通維持・確保
に向けた請願書
(採択)

◎請願者 砂金文昭

他2名

〔意見書〕

◆意見書案第8号

「保険で良い歯科医療」
実現を求める意見書
(原案可決)

◆意見書案第9号

地域公共交通維持・確保
を求める意見書
(原案可決)

◆意見書案第10号

政府が自ら決めた備蓄
ルールに基づいて政府米
買い入れを求める意見書
(原案可決)

◆意見書案第11号

地方自治の継続性を守る
ための予算執行を求める
意見書
(原案可決)



遠野まつりの賑わい風景

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

新型インフルエンザの拡大防止を



菊池 民彌 議員
(正心会)

今後、養蜂農家等関係機関との情報共有をしていく。

問 新型インフルエンザの対応策と、今後の拡大防止と重症化の防止策は。

答 花粉交配用ミツバチ不足の対応は、主にリンゴ農家が養蜂農家から借り受けて、花粉交配している。現在のところ不足とは感じていない。

答 国内発生を受け警戒本部を設置。感染者確認後、対策本部に切り替えた。公共施設25ヶ所に消毒薬等を配置し予防を図った。早期受診をすすめ、拡大防止や

重症化防止の徹底を図る。**問** 初代市長としての市政運営の検証とその評価を問う。

答 公平・公正・公開を基本に、市民協働による「永遠の日本のふるさと遠野」のまちづくりに取組んだ。

答 国内発生を受け警戒本部を設置。感染者確認後、対策本部に切り替えた。公共施設25ヶ所に消毒薬等を配置し予防を図った。早期受診をすすめ、拡大防止や

問 中学校再編成時期について

答 同時期スタートには変りない。今後の話し合い次第では、一部先行実施も選択肢の一つだ。

問 全国学力テストの実施結果について問う。

答 本市の正答率は、小6は全国平均、県平均に比較

総合計画前期基本計画の成果と課題について



菊池 充 議員
(無党派)

問 人口減少対策について
答 今後も人口減少は進むと予想されるが、歯止めをかける為に少子化対策を含めた総合的な政策としてのわらすこプランの目標

値である合計特殊出生率2.08への取組み、定住政策による17世帯34人の移住、雇用の確保対策は企業の新増設で6社92名の雇用の場を確保する等成果は確実に上がっているが、なお一層政策の充実を図っていく必要がある。
問 一次産業の振興対策について

答 農業生産100億円達成アクションプランでの成果と課題の検証作業をすすめ、指導体制も一本化し総合的な振興を図っている。畜産についても今までの対処療法的な対策ではなく、抜本的な生産体系の見直しと、新しい生産方式の導入等について現在検討している。今回、林業も含め農畜林一体となった(仮称)農林水産振興ビジョンを策定し課

題となっている木工団地の振興についても示す。

問 宮守町の町づくり対策について

答 合併後、CATVの整備、デマンド方式によるバス運行、3地区への児童クラブの整備等町づくりに取組んできた。宮守地域まちづくり会議の報告書では、住民の健康づくりの為に施設整備、雇用対策、遠野ブランドを生かした農業の振

して好ましい結果だったが、中3については課題を残す結果だった。

その他の質問

●林道整備について

興、情報ビジネス校の利活用、商店街の活性化、少子高齢化社会の中での地域づくりのあり方、などが課題に挙げられている。

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

四年間の総括について



佐々木 謙 議員
(無会派)

問 市長と語るう会の実績と評価をどう総括しているか。

答 開催に当たっては、毎年テーマを変えマンネリ化

に陥らないように配慮している。今年度は全会場に部長等も出席させ、市政課題解決に向けた状況を説明し、意見提言を聞いた。

問 少子化対策の効果について

答 若者の出会いの場の創出を目的として「恋人の聖地」を設置した。里山の

手入れによる新規職場の創設は「里山ライン整備事業」として雇用対策を実施している。

問 まちづくりにおける宮守町の課題はなにか。

答 地元自治会や関係団体で「めがね橋周辺環境整備委員会」を立ち上げ、案内

板を充実させ、「めがね橋」を起点として観光客が中心市街地を回遊できるように

する。「新町」の水路の進捗

状況は、今年度から24年度までを予定している。情

校の跡地活用については、

まだ在籍生徒がいることから、その心情を汲みつつ地域住民の声を大切にして進めたい。

問 議会調査特別委員会の報告をどう捉えたか。

答 市議会の最終報告を尊重し、当面市民理解と市

民合意を最優先に取り組む。
問 各地区懇談会の状況は。

答 各町内関係団体代表者懇談会として、9会場で開催した。賛否両論ではあったが、最終報告を尊重し、今後も住民合意を得られるよう努力する。

中学校再編成は合意のとれる地域から



石橋 達八 議員
(無会派)

問 改正農地法で、今後の農業経営における農地運用が変化すると思うが、効率的な運用、新規参入希望者への支援、農業委員会に対する支援等は。

答 農地運用では、チャ

ンスと捉え、効率的な利用に取組みたいと考え、J A、農業委員会などと協議

中だ。認定農業者の担い手や集落営農組織等の規模拡大を進めたい。新規農業参

入者への支援は、ASTが相談窓口となり支援している。「アスト起農塾」等

を活用してほしい。農業委員会への支援は、耕作放棄地の解消、農地の有効利用

等ますます連携が必要になる。来年度は農業部門のワンフロアー化を図り、さらに、連携と農家の支援体制を強化する。

問 中学校再編成について

も、現時点で再編反対の考えに再編賛成の地域が合わせなければならぬ事もない。合意の取れた地域から進めてはどうか。合意の取れない地域は、提起課題の徹底した話し合いをし、住民自身のこうあればよい

という「明確な基本的な考え」の合意形成を先ずすべきだ。意見を十分に調査し、再スタートを。

答 同時スタートに固執し

過ぎ、再編成の機を逸してしまう事は、市民の期待に背く事にもなりかねない。市民意向の把握に努め、話し合いを重ねる中で、一部先行実施も含め、然るべき時期に判断する。再スタートについては新たに各町、各団体等の方々と意

見交換を行っている。



明日の遠野を担う子どもたち

一般質問(文責は質問者)

市政を問う



米の脱穀風景



菊池 邦夫 議員
(新和会)

安心安全な生活環境基盤整備

問 総合防災センターに通じる道路を整備して、命と財産を守るための一刻を争う災害、防災に即応できる

問 携帯電話不感地域の実態と整備計画は。

問 消防力の強化対策と女性消防団員の参画しやす環境づくりについては。

問 改正農地法は「効率的な利用を」口実に、儲け本位の企業による農業経営支配に大きく道を開くなど、多くの疑問と懸念を抱えた

問 改正農地法が改正され農業者のみならず企業なども農地を賃貸借できるようになる。法改正に伴って農業委員会の監視体制などの権限も強化され、さらなる体制の整備・強化が求められており、この課題に全力で取り組む。

答 市民の財産でもある人命・家屋等を守る立場として、救急業務、火災等防災業務に誠心誠意取り組み、可能なかぎり成果を見出すために努力する。

答 市内での不感地エリアは21ヶ所となっていたが、既に3ヶ所が可能となっており、来年度までに4ヶ所が通話可能見込みで、災害時の通信手段として、防災無線や遠野テレビにより対応している。

答 9月1日現在団員889人であり、うち女性が19人で全体の2.1%である。消防団協力事業所等においてしながら女性だからこそその視点での活動があり、細かい対応が期待できる。婦人消防協力隊の育成、充実に図ることが団員への参画に

結びつくと考え。機能別消防団員の特定の職務としては、災害の発生時や消火活動等の後方支援、予防啓発活動である。

その他の質問

● 葉草栽培の振興について

● 森林セラピーロードの検討について



小松 大成 議員
(無会派)

日米FTA締結に反対を

問 民主党政権が誕生したが、同党のマニフェストは日米FTA締結をうたっている。これは日本の農業そのものを破壊しかねない危険性をはらむものと言わざるを得ないが市長の見解は。

問 米価が暴落してきている。にも関わらず、政府は決めた備蓄米は100万トン程度を適正基準として保有するとしながらも86万トンし

か備蓄していない。価格安定のための政策を講じるよう政府に申し入れるべきだ。

答 農産物の価格安定について、全国市長会の重点要望項目として「米価下落を阻止するため、政府備蓄米の備蓄水準を引き上げるな抜本的な対策を講じる」と等の要望をしている。

答 日米FTA交渉は我が国の農林水産業に甚大な影響を与えることは確かであり、遠野市農業にとっても、安心安全な国産食材を求める消費者にも大きな影響を及ぼす。これには重大な関心を持っている。

答 農産物の価格安定について、全国市長会の重点要望項目として「米価下落を阻止するため、政府備蓄米の備蓄水準を引き上げるな抜本的な対策を講じる」と等の要望をしている。

答 農地法が改正され農業者のみならず企業なども農地を賃貸借できるようになる。法改正に伴って農業委員会の監視体制などの権限も強化され、さらなる体制の整備・強化が求められており、この課題に全力で取り組む。

7月臨時会での議案審議結果

議 案 名	賛成	反対
平成21年度遠野市一般会計補正予算(第3号)	全会一致	

8月臨時会での議案審議結果

議 案 名	賛成	反対
遠野北小学校屋内運動場改築(建築)工事の請負契約の締結について	全会一致	

9月定例会での議案審議結果

議 案 名	賛成	反対
平成20年度遠野市一般会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	全会一致	
平成20年度遠野市水道事業会計決算の認定について	全会一致	
遠野市情報公開条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
遠野市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
遠野市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
遠野市消防団に関する条例の一部を改正する条例の制定について	全会一致	
市道路線の廃止について	全会一致	
市道路線の認定について	全会一致	
平成21年度遠野市一般会計補正予算(第4号)	全会一致	
平成21年度遠野市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
平成21年度遠野市老人保健特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
平成21年度遠野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
平成21年度遠野市介護保険特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
平成21年度遠野市ケーブルテレビ事業特別会計補正予算(第2号)	全会一致	
平成21年度遠野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
平成21年度遠野市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	全会一致	
平成21年度遠野市水道事業会計補正予算(第1号)	全会一致	
遠野市立綾織小学校校舎改築(建築)工事の請負契約の締結について	全会一致	

7・8月臨時議会

予算審査特別委員会

7月臨時会

平成21年7月臨時会が7月17日に開催され、平成21年度一般会計補正予算(第3号)の1件を全会一致で可決しました。

その中で特に齋場整備事業費9億円のほか、地域農産物加工施設整備費、遠野風の丘風力発電等整備事業等に質疑が集中しました。

齋場整備について

問 9億の事業費であり、市内の業者に幅広く発注ができ活性化が図られるよう、共同企業体編成等も取り入れながら、一方では失業者対策の一環としても、出来ないのか。
答 雇用対策もあり検討していく。

問 アクセス道路への配慮は。
答 下水、道路整備をするにしても、齋場を利用する人が不便を来たす事になるので、工夫しながら通行止めをしない形でやりたい。

問 造成建築工事は用地が買収になれば実行するのか。
答 用地買収は秋頃までに実施し、今年度の工事は設計が2月頃までに終了し、3月に工事を発注し、3月議会で議決を経て本契約をしたい。

夢の教室の事業について

問 遠野わらすっこ夢の教室の出身は。
答 この事業は日本サッカー協会との連携事業で、元日本代表選手や現役Jリーガー、なでしこジャパンの選手、その他OB、

OG、他種目のスポーツ選手が小学校を訪問し、指導講師、夢先生となり小学校5年生、6年生の授業を持つことになっている。そして子供たちと語りや触れあいの中から夢や目標を持つこと、夢に向かって努力することの大切さを指導するという内容である。

問 小学校は市内に11校あるが、対象校は。
答 現在の予定では、全ての学校でこの事業を行うこととなっている。

野生鳥獣害防止対策事業費について

問 野生鳥獣害防止対策事業費360万の増の要因は。
答 この事業は電気牧柵を設置するにあたり、農家1戸あたり最大6万円、3分の2補助。当初は40戸予定していたが、今現在申請数は84戸。今回は60戸

分増額したものの。
問 電気牧柵の効果は。
答 牧柵をした地域はそれなりに効果はあるが、鹿に至っては牧柵をしていない地域に逃げてしまう。

問 それでは根本的な解決になっていないのではな
答 県の鹿管理計画では、現在五葉山付近に生息する5千頭を、平成23年度までに2千頭駆除する目標を立てている。周辺市町村と連携し、狩猟とワナの両方を使った駆除対策で駆除していきたい。



野生鳥獣害の根本的な防止対策を

8月臨時会

平成21年8月臨時会が8月6日に開催され、遠野北小学校屋内運動場改築(建築)工事の請負契約の締結についての1件を全会一致で可決しました。



決算特別委員会

市政の詳細について

決 算特別委員会（議長、議会選出の監査委員を除く20人の議員で構成、委員長は萩野茂男議員、副委員長は織笠孝之議員）は、決算9件の議案について付託を受けて3日間の審議を行いました。

審議の結果、一般会計ほか8会計を全会一致で認定しました。

遠野市の財務指標の低さについて

問 財政力指数が0.28の中で、18億円程の予算で大きな事業を展開しているが、他市との比較評価は。

答 この財政力指数の数値は県内13市の中で最も低値である。計算根拠は、交付税を計算するための指標であり、基準財政収入額と基準財政需要額の

差額が交付税となる。今回の0.28は基準財政収入額に対して基準財政需要額が多く、この数値となった。この財政力指数が少ない為、交付税も多くなる計算となり、市政運営として一般会計の決算ベースで約18億円となっている、創意工夫でやってきた。

200円バスやデマンドバスの利用者増は

問 200円バスやデマンドバスの利用者増対策は。

答 200円バスに、福祉・中心市街地活性化低料金バス運行補助金として、約500万円が向けられている。このニコニコバスは評判が良く多くの市民に利用されている。毎日運行となると約700〜800万円の補助が必要となると思われるので今後検討したい。

このデマンドバスは、

1年前に試行され現在本格的に運行されている。予約による効率的な運行がなされ、車両の小型化により安全性の確保や、狭い場所・地区への運行ができた。料金設定や新たな導入地区を検討し、利用者の増加を図りたい。

人口増対策について

問 子育て環境育成事業助成金はどのような基準で支払われているか。

答 ベビーホームに入所している児童の保育料の軽減のために一人一ヶ月5千円の支給、企業内託児施設の経費軽減のために年間一施設50万円を支援している。

問 当市の合計特殊出生率は県内では1.7人と高い。その要因は。

答 15才〜49才までの女性の出生率を表すものであ

り、人口減の中で分母が減ってきているのも一因と思われる。

問 長野県下條村は、出生率2.0を超えている。住宅を労働者に安く提供している。今後宮守町に安い住宅の提供は考えられないか。

答 子育て、生活、住宅、働く場、総合行政でやる。

無記名の燃えるごみ専用袋の取扱いについて

問 市指定のゴミ袋には、町名と区名と氏名を書くことになっているが、実態は、ほとんどの袋には記名がなされていない。一方で、例えば燃えないゴミ・粗大ごみの日に間違つて草刈り機械の刃などを持ち込んで、絶対に持つていかないが、なぜゴミ袋への無記名ものを回収するのか。徹底すべきと考えるがいかか。

答 現在のところは記名がなくても、回収業者が袋を外から点検して大丈夫であれば回収している。平成26年から中部広域の組織によりゴミを回収することになり、他市町村との兼ね合いもあることから、今後は燃えるゴミ専用袋に記名するよう徹底を図っていく。



ブルーベリーの選別作業風景

決算特別委員会

市政の詳細について

畜産総合センターについて

問 畜産総合センターが完成したがどのような形でスタートするのか。

答 市、J A、ノウサイ、畜産振興公社の4者が、畜産の課題解決に取組んでいく。

問 10月から始動するそうだが、その取り組みに際し、人的配置は大丈夫か。

答 最終調整の段階だ。

問 本来このような事業において、J Aが指導的立場で積極的にやっていくのが良い方向と考えているが。

答 J Aは吸収合併されたばかりであり、営農指導、畜産指導等を当面市がリードしていく。

農業後継者育成について

問 農業後継者育成に力を入れるべきと思うが、どの

部署で取り組むか。

答 市とJ Aで職員を出し合っている担い手支援センターのアドバイザーが後継者づくりに努めている。

問 支援センターの事業は、認定農業者や団体に限られているが、新たな就農者や農業後継者をどのように育てていくのか。農業担い手支援総合対策事業等により、九戸村等の取り組みを検証すべきでは。

答 アスト起農塾でも新規就農に技術指導を支援している。20年度は8名の新規就農者を確保。八幡平市の例もあるが、今後は緑峰高校と連携し、新規就農者に対する技術指導等のあり方を協議する。

「とぴあ」へのテナント誘致について

問 「とぴあ」のテナント数は。

答 平成20年度当初は35店舗で、21年度は1店舗減の34店舗である。

問 以前からの空き店舗に加え空き店舗が増え、寂しい状況だ。今後の誘致対策は。

答 管理業務を委託している遠野商業開発の管理業務理事、市関係部署、市内有識者とで、「とぴあ」空き店舗対策委員会を設置し、現在検討している段階。

問 今後「とぴあ」はどんな店舗づくりを目指しているのか。

答 基本的には、「とぴあ」の中で衣食住すべてが満たされるような施設を目指し、そのために店舗の誘致を図っていく。

新町水路について

問 新町水路の整備について、地域の要望は、どの程度取り入れられたのか。

答 地元への説明会等で出された要望は、でき得るかぎり設計に反映させた。

問 一日も早い着工そして完成が望まれているが完成予定日は。

答 工事は3年計画で行われる予定なので3年後には完成の見通しだ。

情報公開について

問 情報公開条例の改正にあたって、「市民」を「何人」(いかなるひと)にも公開する、としたのは、新聞紙上に当市の情報公開度が13市中12番目と報道された事によるものと理解しているが、北海道二セコ町では窓口で5分と待たずに情報が公開されるといいますが、当市の場合。

答 総務課に情報公開の申請をして頂き、15日以内に公開することになっている。

消防団について

個人情報の保護を考慮しながら、市民の知る権利、行政との情報の共有、さらに透明性の確保等、課題山積であるが、公開のさらなるスピードアップを検討していく。

問 機能別消防団員の所属は分団となるようだが、部の所属の方が活動し易いのではないか。

答 これから規則等を検討する段階で消防団の意見も参考にしながら進めたい。

問 平成20年度から団員報酬が各自の口座に振り込みとなった結果、各部で大変苦勞しているようだが、希望者だけでも部の口座に振り込みできないか。

答 会計課とも相談しながら検討したい。

予算等審査特別委員会

予算等審査特別委員会（議長を除く21人の議員で構成、委員長は菊池民彌議員、副委員長は浅沼幸雄議員）は、条例4件、予算9件、その他3件について付託を受けて2日間の審議を行いました。
今委員会では、今後の施策全般にわたり活発な質疑がなされました。その結果、全16議案が原案のとおり可決されました。

「看護保育」安心
サポート事業について

問 看護保育安心サポート事業の内容は。

答 子供が病気の時に保護者に代わって子供の世話をすることによって、就労と子育てを支援する。これは県立病院からの提案で、病児、病後児はすぐに保育所等に授けられないので一時的に保育支援するものである。

問 体制と規模は。

答 県立病院の独身寮の中に保育園をやっていた場所があるが、現在使われていない。そこをリフォームして使用する。運営は保育協会に委託し、3人体制で進める。

問 整備費は1,900万だそうだが、規模が拡大された場合は。

答 県内を視察したが、規模が拡大された状況は多く存在していない。

女性特有のガン検診
推進事業について

問 女性特有のガン検診は、米英では70〜80%受診、

日本は約14%のマンモグラフィー受診率だが、遠野市の乳がん検診と子宮頸がん検診は。

答 平成20年度で子宮頸がん検診は、18.2%、乳がん検診は23.9%と

なっている。

問 今度の事業で無料クーポン券が配布されるが、受診率向上に向けての対策は。

答 保健推進員を通じて無料クーポン券を配布し、市の検診が9月24日からスタート10月25日まで開催されるので受診をお願いしたい。

問 どのくらいの受診率アップと見るか。

答 他市町村の例を見ても、例年の受診率よりは伸びている。

地域連携雇用創出
事業費の増について

問 事業費が1,465万円増えた中身は。

答 福祉関係の保育士・市の臨時職員・グリーンツールの臨時職員・コミュニケーション・ユニティビジネス関係臨時職員・農業関係者の研修等である。

問 前回雇用了市臨時職員は継続か、また改めて雇用するのか。

答 今回の創出事業の市臨時職員は新たに雇用する。

問 前回の臨時職員は離職し、再就職していない状況。今後の雇用対策は。

答 緊急雇用の性質上、多くの方を採用する要件があり、継続して雇用できない。今後はふるさと雇用で新たに対応していく。

ブルーベリーの
振興について

問 市内では、7〜8年前から栽培面積が増え始め、

その後も順調に推移しているものと認識している。加えて2〜3年前から民間資本による、大規模なブルーベリー園の造成が始まっているが、既存の農家と民間会社を有機的に組み合わせ、遠野産ブルーベリーを

全国に通用するブランドにはできないか。

答 生産量や生産額も順調に伸びてきており、これからの有望な作目であると考えている。個々の農家と民間資本との連携を図りながら、遠野産ブルーベリーとして全国に発信していく。



河川一斉清掃の様子

予算等審査特別委員会

国土保全森林対策
事業費の増について

問 遠野市水道ビジョンの新基本計画にあつて、具体的施策として、安定した水源の確保のため、水源地のかんよう涵養・保全に努めるとあるが、水道事務所と林業振興室との連携が取れていないのではないのか。

答 琴畑水源지는、国有地で、植林をして国に返納する事になっており、平成15年から3年で市民協働による植林をした。その後、遠野エコネットによる下刈り、補植、鹿の食害防除等の奉仕活動があり、遠野森林管理署による検証でも十分に成長している事が確認された。奉仕活動に対する支援は、今後予算等をみながら検討したい。森を育て、守り、水を守るためにも民間の植林事業に援助していく。

道と川の環境整備について

問 従来から河川の草刈りについては、市民協働で取り組んでおり、加えて本年度からは、道路についても取り組みが開始された。色々な面で非常に効果的な事業であると感ずるが、来年度以降拡大するのか。

答 市としても大変良い事業だと思つている。来年度以降も市道・県道については拡大していきたい。

問 作業中の事故への対応はどうなつているか。

答 各行政区長には3種類の保険を提示し、その中から地域の実情に合ったものを選択し、加入して頂いており、保険料も市で負担している。

中学校の部活動の実態について

問 中学校の部活動については、県の校長会申し合わせで第2、第4土曜日は休止するということになつているが、岩教組の調査では、実に41%の学校が守られていないという結果となつているが、市内中学校の現状をどう把握しているか。

答 市町村、或いは各教育事務所管轄によつて考え方が違つて考へている。新聞紙上では大船渡地区は第2、第4土曜日の活動は必ず休みましようという事になつているが、遠野では校長会でのそういった取り決めはない。県からもこうしなさいという指示はない。しかし、これを機に校長会の中で話題とし、今後の対応について協議していく。

永年の功績たたえる

全国市議会議長会表彰

期日 平成21年6月11日
場所 市議会議場

本

市議会の議員3人が、全国市議会議長会から表彰を受けました。

表彰されたのは、佐々木照議員、安部重幸議員、菊池敏行議員の各氏で、今回の表彰は、全国市議会議長会表彰規程に基づき、佐々木議員は市議会議員の勤続年数が通算30年以上、安部議員と菊池議員は10年以上上務めた功績によるものです。

表彰状は、5月27日に日比谷公会堂で開催さ



勤続年数30年特別表彰を受ける佐々木照議員

「地域活動のあとは…」

私の
ひとこと



しんのすけ
井手 進之典 さん
(附馬牛町)

私 はしし踊りや神楽な
どの郷土芸能や、消
防団などの地域活動をして
いますが、若い世代が一人
しかいなくて廻りは皆おじ
さん達です。
色々な地域活動があります
が、私の住んでいる地域で
はほとんど全てを同じメン
バーで活動しています。「何
が楽しくてそんなに地域活
動をするのか？」とよく聞
かれますが、やはり打ち上
げなどの飲み会です。若い
世代は自分達よりも上の世

代とはあまり飲みたくない
と思っっている人が多いので
はないかと思えます。とこ
ろが中に入って飲んでみる
とこれが意外に楽しいので
す。自分の知らない話を聞
けるので、自分の知識が増
えていつているような気が
します。
皆さんも地域活動などを通
じて近所のおじさん達と一
緒にお酒を飲んでみては
いかがでしょうか？そこには
意外と楽しい世界があるか
も知れませんが！

このコーナーは、市民の皆さまのまち
づくりの夢や希望などを掲載しています。
掲載希望される方は、お気軽に当事務局
までお申し出ください。

市民の皆さまからの議会への 意見・提言・苦言をお待ちしております。

編集後記

9月16日に定例会の最
終本会議が終了した。今
議会は20年度決算と21年
補正予算を審議した。20年
度を振り返りながら、そ
の成果はどうであったか。
そしてそれを今後どう生
かしていくかが問われる。
しかしその資料にいくつ
かの誤りがあり、正誤表
が付してあった。また、
摘要欄に、○○等と表示
していたが、もっと分か
りやすく表示すべきであ
るとの意見が多く出た。
審議内容以前の問題であ
り、当局も十分注意し提出
してほしい。

さて国政においては、
新しい連立政権が誕生し
た。今まで積もり積もつ
た不満が新政権をつくり、
今度は大きな期待となつ
ている。国際協力も大切、

国政も大事、私たちの住む
遠野市においては、産業
の振興(特に農畜林業)、
福祉の充実、少子化対策
等課題山積。自助努力は
もちろん、国政の行方に
期待したい。

(新田)

■ 広聴広報特別委員

□ 委員長

瀧澤 征幸

□ 副委員長

菊池巴喜男

□ 委員

荒川 栄悦
織笠 孝之
浅沼 幸雄
新田 勝見

次の定例会は、12月4日(金)から11日(金)までの9日間を予定しています。改めて議会運
営委員会で決定されます。審議日程などの詳しいことは、議会事務局にお尋ねください。